

平成28年 7月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成28年7月の山梨県内の全業種のD I値（前年同月）は、売上高マイナス20ポイント、収益状況マイナス12ポイント、景況感マイナス6ポイントと全てで悪化した。

前月比で比較すると売上高、景況感は若干上向いたが、収益状況はマイナス2ポイント悪化した。非製造は前月比売上高、収益状況、景況感の全てで不変だったが、製造業では売上高が15ポイント、景況感は5ポイント改善したが、収益状況はマイナス5ポイントと3ヶ月連続で悪化している。

熊本地震や大手自動車メーカーの燃費データ不正問題の影響は和らいできたが、長期化する中国経済の低迷や円高による輸出の減少、国内消費の伸び悩みも重なり景況改善が進まない状況にある。

製造業では、アパレル業界や電気機械製造業界における技術力や商品力等に企業格差が一段と広がっている報告が寄せられた。

非製造業の宝飾品業界では、これまで追い風だったインバウンド消費における高額品から低額品への移行、建設業を中心に技能者等の高齢化に伴う人手不足、美容業や家電小売業等は消費者の節約志向への高まりが懸念される。

体力のない中小・小規模企業が国内だけでなく海外経済の影響を受ける状況下、経営基盤を盤石なものとする事業継続計画の確立・経営力の強化策が急がれる。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は日本郵政向けのカatalog販売が伸長したうえ、ホテル・レストラン等向けの生食材も好調だったため、全体の売上は前年同月比122%。
食料品（洋菓子製造）	OEMの焼き菓子が好調だったが、自社製品の量販店、専門店向けが不振。円高により輸出も低調だったため、全体の売上は96%となった。
食 料 品（菓子）	円高感があるが、輸入原材料の価格には反映されていない。
繊維・同製品（織物）	クールビスや雨不足によりネクタイ、傘地は動きがない。インテリア関係は高級ホテルやマンション等の需要は多いが、一般向けは少ない。裏地は昨年より若干受注状況が良い。
繊維・同製品（アパレル）	加工事業者は横ばいだが、製造販売を行っている事業者は引き合いも活発で価格も上昇。
木材・木製品製造	大手プレカット会社が山梨に進出してきているため、低価格競争等による影響が出始めている。

窯業・土石（砂利）	山梨県内の骨材の主な受給先は中部横断自動車道関連のため、地域格差が生じている。
窯業・土石（山採石）	H28年4～6月の製品出荷量は減少傾向にある。また、諸資材の高騰により利益は無いに等しく、設備投資が出来ない状況が続いている。
鉄鋼・金属	景気は、昨年よりは良くなってきたが回復傾向ではない。
一般機器	景気の足踏み状態が長期化している。半導体等電子部品等の輸出の減少、原材料価格の高騰の影響により利益が減少し厳しい状況は続いている上、国内の消費も伸び悩み、低迷が続いている。
電気機器	全体的に受注量は減少しているが、特殊な加工や高度の技術を持った企業は、受注量が非常に多い。

● 非製造業

卸売（塗料）	業況は悪化。
卸売（紙製品）	古紙の仕入価格が高騰しているが、中国の景気後退により原料の古紙のオーバーフローを懸念する。
卸売（ジュエリー）	国内の流通が停滞しているため売上を海外市場で補ってきたが、中国経済の低迷により高額品の売れ行きが落ち込んでいる。
小売（青果）	野菜、果実の出荷量の増加により荷動きが活発なため販売数量が増加し、収益状況も10%程度上昇。
小売（電機製品）	リオデジャネイロオリンピックの影響のためかテレビの売上が若干上向いたが、エアコン、冷蔵庫は前年を下回り、前年対比大幅ダウン。
小売（事務機文具）	官公庁、民間ともに需要が伸びず過当競争が続いている。
小売（石油）	原油価格の値下げにより卸価格も低下したが、それ以上に小売価格が値下がりしたためマージンを圧迫。
宿泊業	中国人旅行者による「爆買い」が鈍化し、中国からの旅行者は減少傾向。
美容業	例年猛暑により売上が伸長する時期だが、低価格競争や消費者の節約志向等により店舗格差が生じ先行き不透明。
廃棄物処理（事業系）	運転者の高齢化が加速しているため、貨物自動車運転経験者の無事故者を募集しても希望者が少なく、人材確保に苦慮している。
警備業	夏期の各種イベントや公共工事の発注が順調に推移しているが、警備員不足と警備員の高齢化により受注に応えられない事態が生じている。
建設業（総合）	7月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は18%、請負金額は17%増加。前倒し発注の政策が要因と考えられるが、件数で7%、請負金額では21%増加。

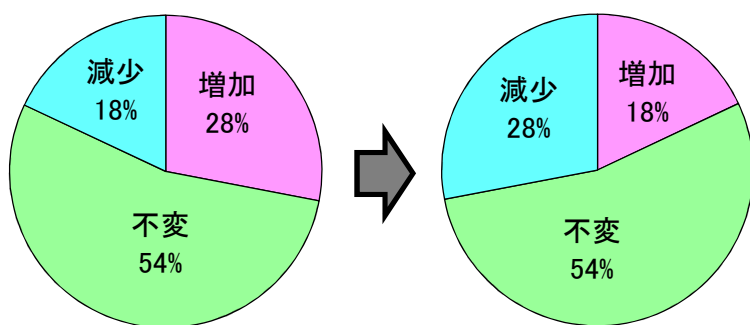
建設業（鉄構）	全国的に受注格差が生じており、値戻し傾向にあった受注価格が下落。
設備工事（電気工事）	山梨県内の工事発注が若干出始めたが、絶対量が少ないため県外へ出向く企業が多い。
設備工事（管設備）	低迷していた新設住宅の着工に回復の兆しが見えてきたが、配管工等の職人の高齢化、経営者の高齢化による廃業等により技能者確保が難しい。
運輸（タクシー）	夜間利用者が減少。
運輸（バス）	円高の影響によりインバウンドが減少。特に、昨年に比べ中国からの訪日客数の落ち込みが激しい。
運輸（トラック）	雨不足などの天候不順の影響により、青果物の出荷量が前年に比べ30%程度減少しているため稼働率が下がっている。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2015/7	2016/6	2016/7	2015/7	2016/6	2016/7	2015/7	2016/6	2016/7
売 上 高	5	-25	-10	13	-10	-10	10	-16	-10
収 益 状 況	-5	-15	-20	3	-7	-7	0	-10	-12
景 況 感	-5	-25	-20	-7	-7	-7	-6	-14	-12

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D. I 値

売 上 高 (前年同月比)

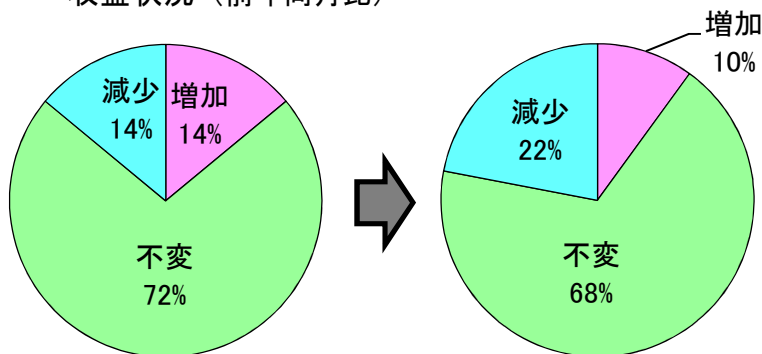


平成27年7月

平成28年7月

- ・ D I 値 ▲10 (前年同月比▲20)
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲10(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲23)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 15ポイント改善
 - 非製造業 不変

収 益 状 況 (前年同月比)

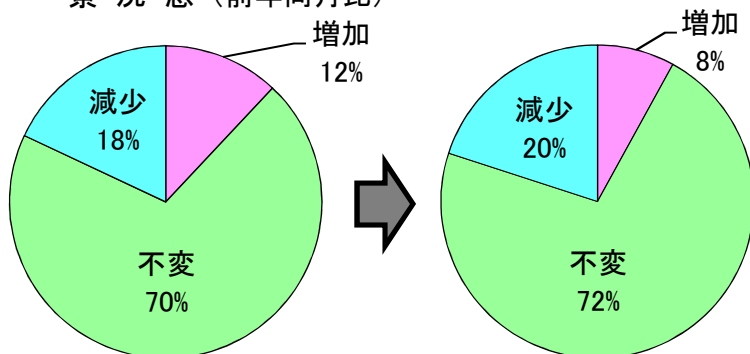


平成27年7月

平成28年7月

- ・ D I 値 ▲12 (前年同月比▲12)
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲20(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲7 (前年同月比▲10)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 5ポイント悪化
 - 非製造業 不変

景 況 感 (前年同月比)



平成27年7月

平成28年7月

- ・ D I 値 ▲12 (前年同月比▲6)
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲20(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲7 (前年同月比±0)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 5ポイント改善
 - 非製造業 不変